

世界距離別スケート

高木姉妹で表彰台

美帆500位菜那マススタート2位

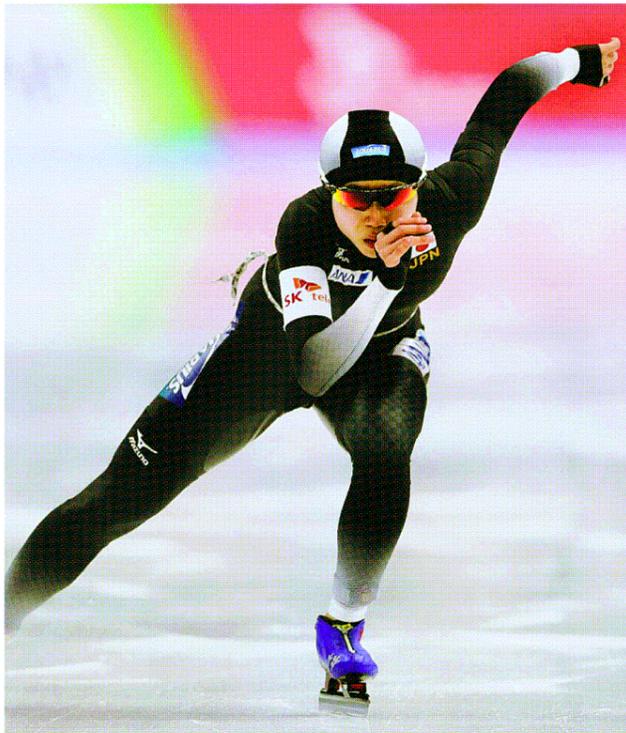
【江陵(カンヌン、韓国)時事】平昌五輪テスト大会を兼ねたスピードスケートの世界距離別選手権最終日は12日、韓国の江陵で行われ、女子1500メートルで高木美帆(日本体大・帯南商高)が1分55秒12で3位に入った。この種目で自身初の表彰台で、日本勢としては2003年に2位の田畑真紀以来、押切美沙紀(富士急・駒大苫小牧高、中札内中出)は12位、佐藤綾乃(高崎健康福祉大)は20位。ヘザー・ベルフスマ(米国)が1分54秒08で勝ち、1000メートルの2冠。女子マススタート

トでは高木菜那(日本電産サンキョー・帯南商高)が個人種目で初の表彰台となる2位に入った。高木美は21位。日本女子は史上最多の5種目で表彰台に上がった。男子1500メートルでは中村奨太(ロジネットジャパン)が15位、小田卓朗(水戸開発計画研究所)は16位、近藤太郎(専大)は19位。キエルト・ナウス(オランダ)が1000メートルに続いて制した。同マススタートのウィリアムソン師円(日本電産サンキョー)が9位、土屋良輔(専大)は15位。

日本女子、史上最多5種目でメダル



女子1500メートルのレースを終え、声援に応える高木美帆＝12日、韓国・江陵(時事)



女子1500メートルで滑走する高木美帆



女子マススタートで滑走する高木菜那(右)。左は高木美帆

笑った。表彰台を狙った1000メートルでは6位にとどまったが、雪辱を懸けた種目で、

標高が高く、記録の出る力なタのカルガリーでマーク

した自己ベストに0秒56と迫る好タイム。「イメージしたリズムやペース配分で滑れた」。2組を残した段階でも、表彰台を確信したように派手なガッツポーズで喜びを表した。

美帆は「きのう100%で滑れなかった分、回復した。いけるぞと思った」。デビッド中長距離ヘッドコーチ

「何か自信がなかった自分とはお別れできたかな」と小平。結果はもうろん、精神的な成長も確認できた2日間となった。

小平1000で2位

2種目とも最高の出来

日本の女子選手がはね返され続けてきた1000メートルでも、小平が表彰台に立った。前日の500メートルより一段下がったが、「五輪での複数メダルというのは頭にある。いいイメージづくりができた」。最高の形で平昌五輪のテスト大会を締め

「頑張り過ぎた」中村奨
▽:男子1500メートルの中村奨は後半に失速して15位。長距離種目のスター、スペイン・クラマー(オランダ)と同組になり、「頑張り過ぎてしまった。序盤から飛ばしたが、最後の1周で大きくラップを落とした。昨年12月のワールドカップで2位に入った。今大会には自らに期待して臨んだが、「ここまで重圧がかかるのは初めて。頭が回らなかったと反省していた。悔しいしかない」小田

距離別の女子メダリスト

| | | | |
|------|------|------|----|
| 1996 | 500 | 島崎朋美 | 2位 |
| 98 | 500 | 岡崎朋美 | 3位 |
| 99 | 500 | 岡崎朋美 | 3位 |
| 2000 | 3000 | 岡崎朋美 | 3位 |
| 01 | 1500 | 岡崎朋美 | 3位 |
| 03 | 5000 | 岡崎朋美 | 3位 |
| 05 | 1500 | 岡崎朋美 | 2位 |
| 07 | 500 | 岡崎朋美 | 3位 |
| 09 | 500 | 岡崎朋美 | 3位 |
| 15 | 500 | 岡崎朋美 | 3位 |
| 16 | 500 | 岡崎朋美 | 2位 |
| 17 | 500 | 岡崎朋美 | 3位 |
| (MS) | 500 | 岡崎朋美 | 3位 |

【男子】▽1000メートル ①キエルト・ナウス(オランダ) 1分55秒12 ②ヘザー・ベルフスマ(米国) 1分54秒08 ③小田卓朗(水戸開発計画研究所) 1分53秒63 ④中村奨太(ロジネットジャパン) 1分53秒11 ⑤近藤太郎(専大) 1分52秒34 ⑥小田卓朗(水戸開発計画研究所) 1分51秒47 ⑦近藤太郎(専大) 1分51秒34 ⑧小田卓朗(水戸開発計画研究所) 1分51秒34 ⑨小田卓朗(水戸開発計画研究所) 1分51秒34 ⑩小田卓朗(水戸開発計画研究所) 1分51秒34

か」。